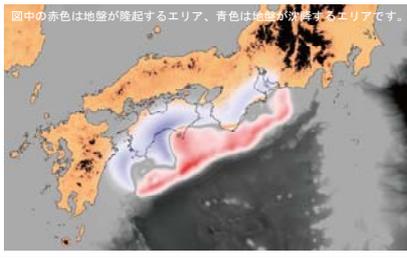
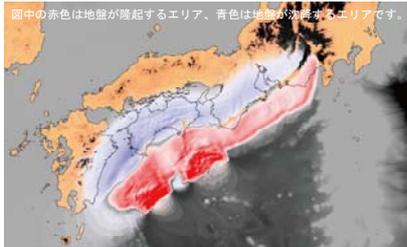


# 津波危険マップの説明

## ■ 想定津波

今回（2014年版）の津波危険マップは、2011年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な津波被害を踏まえて、前回（2011年版）の浸水区域を見直したものです。今回（2014年版）は、現在の科学的知見をもとに、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定し得る最大クラスの津波の高さと浸水区域を予測したものです。

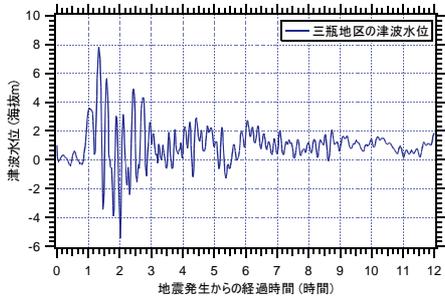
説明	震源域
<p><b>2011年版（前回）想定津波</b></p> <p>中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」から平成15年12月に公表された「東南海、南海地震に関する報告」をもとに想定した東南海、南海地震を対象に、津波の浸水範囲を予測しました。</p> <p>発生する津波を予測したものです。</p> <p>この地震は、約100～200年の間隔で発生する可能性が高いといわれている頻度・規模です。</p>	<p>図中の赤色は地盤が隆起するエリア、青色は地盤が沈むエリアです。</p> 
<p><b>2014年版（今回）想定津波</b></p> <p>内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」から平成24年8月に公表された「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」をもとに想定した南海トラフの巨大地震を対象に、津波の浸水範囲を予測しています。</p> <p>この地震は、現在の科学的知見から想定することのできる最大規模の地震津波であり、1000年に1回程度発生する頻度です。</p>	<p>図中の赤色は地盤が隆起するエリア、青色は地盤が沈むエリアです。</p> 

## ■ 避難時の注意点

津波は、繰り返し押し寄せます。仮に津波の高さが低くなってきたからといって、安心することは大変危険です。浸水域や浸水深等は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

津波の継続時間は、地震の規模や震源の場所によって変わります。数時間から長いときには1～2日に及ぶ場合もあります。

津波警報・注意報が解除されるまで、警戒・注意が必要です。



# 避難の際の注意事項

## ■ 避難の心構え

- 避難場所・避難経路を事前に十分確認しておきましょう。
- 親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。
- 避難時における携行品を事前に準備しておきましょう。
- 市役所や消防団などからの避難の呼びかけに注意しましょう。
- テレビ・ラジオで最新の気象情報、災害情報、避難情報を入手しましょう。



## ■ 避難時の注意点

動きやすい格好、2人以上での避難

避難する時は、動きやすい格好で。また、単独行動は避け、できるだけ2人以上での避難を心がけましょう。



車での避難は控えて

車での避難は交通渋滞を招きます。また、道路冠水などにより動けなくなる可能性があります。特別な場合を除き、早めに徒歩で避難するようにしましょう。

お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方などは、早めの避難を心がけましょう。また、町内会や自主防災組織の指示に従い、隣近所の方は避難に協力しましょう。



火の元や戸締りの点検を忘れず

家を出る前には、火の元や戸締りの点検を忘れずに行きましょう。

## 災害用伝言ダイヤル「171」について

### 伝言の録音方法

171 にダイヤル

音声ガイダンスが流れます。

録音の場合 1

音声ガイダンスが流れます。

被災地の人の電話番号を市外局番から入力  
(0894)XX-XXXX

### 伝言の再生方法

171 にダイヤル

音声ガイダンスが流れます。

再生の場合 2

音声ガイダンスが流れます。

被災地の人の電話番号を市外局番から入力  
(0894)XX-XXXX

# 非常持ち出し品チェックリスト

## 一次持ち出し品

避難するときに最初に持ち出します。あまり欲張りすぎず、男性で15kg、女性で10kg程度の重さを目安に準備しましょう。

### 貴重品類

10円玉は、公衆電話用に20枚程度用意しましょう。通帳、カード、保険証などについては、少なくとも番号を控えたメモをあらかじめ用意しておきます。

現金、10円玉
貯金通帳
カード類
健康保険証
免許証
証書類
印鑑
家や車のキー
携帯電話

### 非常食・食器

非常時に持ち出せる最低限の量で、調理しなくても食べられるものを用意しましょう

乾パン
缶詰
ミネラルウォーター
組立食器、缶切りなど

### 衣類

衣類は不燃素材や綿製品のものが多いでしょう。

下着類
防寒着
雨ガッパ
タオル、ハンカチ

### 生活用品など



万能ナイフ
マッチ、ライター
すべり止め付き軍手
ビニールシート
ヒモ、ガムテープ
ティッシュ、ふえ
裁縫道具

### その他

生理用品
赤ちゃん用品
筆記用具
住所録のコピー

### 避難用具

各部屋に懐中電灯を用意しておく。（長い紐でわり易いところにぶら下げておく）

携帯ラジオ
懐中電灯、ろうそく
予備電池
ヘルメット

### 救急用具



消毒液
傷薬
湿布薬
三角巾、包帯、脱脂綿
ばんそうこう
風邪薬、胃腸薬
常備薬

## 二次持ち出し品

災害復旧までの数日間を自足できるように準備しておくものです。家族1人当たり3日分程度を用意しましょう。

### 飲料水

大人1人当たり1日3リットルが必要最低限。家族全員の分をポリタンクなどに溜めておき、沸かしてから飲みましょう。このほか、炊事・洗濯・トイレなどに使う生活用水の確保も忘れずに。

### 食料品

そのまま、または簡単な調理で食べられる物。缶詰・レトルト食品・インスタントラーメン・切りモチ・アルファ米（湯または水を注ぐだけで食べられる）など。調味料も用意しておきましょう。

### 燃料・その他

短期間なら卓上コンロや缶形燃料で十分ですが、冬季は暖房用の燃料が必要です。そのほか、ビニール袋・新聞紙・キッチン用ラップなどもあると便利ですよ。

※現在西予市では、食料備蓄を進めているところですが、この食料は家が倒壊・消失・流失してしまったために自分の備蓄していた食料を持ち出すことのできなかった人の分です。決して被災者（=市民全員）に対する配給物資ではありません。

# 津波一時避難場所

各地区の自主防災組織が推奨する『津波一時避難場所』一覧

地区名	行政区 (自主防災組織)	各地区の自主防災組織が推奨する 津波一時避難場所 ※1	海拔 ※2	世帯数 ※3	人口 ※4
朝立	1区	大元楼 30m	53m	280	628
		集いの館第1分館 14m	14m		
朝立	2区	宇都宮楼 31m	28m	222	472
		2区農道（朝立山口線） 18m	12m		
津布理	4区	国造神社 28m	76m	435	999
		東山親睦第1分館 12m	37m		
		市道津布理10号線（桜谷線） 63m	41m		
		龍運平和三親睦、市道津布理39号線の各交点 3m(16.5m)	19m		
		三瓶中学校（屋上） 3m(15.4m)	17m		
		三瓶高等学校（屋上） 3m(15.4m)	19m		
		津布理神ヶ谷 17m	19m		
		鞍馬堂上 19m	19m		
		谷上鞋履場（谷口） 3m(15.4m)	28m		
		谷上鞋履場（屋上） 28m	23m		
安土	5区	金刀比羅神社 23m	23m	221	449
		市道安土13号線 26m	26m		
有網代	6区	国造神社 23m	26m	71	158
		有網代基地 26m	26m		
朝立津布理	7区	三瓶中学校（屋上） 3m(16.5m)	12m	125	256
		朝立親睦第1分館 8m	8m		
朝立	8区	2区農道（朝立山口線） 28m	4m(24m)	174	407
		やぐらの下用地 22m	22m		
埴生	埴生	増上グラウンド 46m	46m	399	832
		埴生小 10m	23m		
		市道二及3号線終点付近 18m	27m		
		市道二及10号線終点付近 33m	55m		
二及	二及	二及農村公園 19m	19m	302	603
		砂神山 16m	13m		
長早	長早	国造神社 13m	24m	111	229
		二及楼 24m	6m(8.3m)		
周木	周木	周木小学校 22m	22m	295	601
		砂神山 11m	11m		
有太刀	有太刀	西側一時避難場所 23m	76m	58	117
		中央一時避難場所 23m	11m		
蔵貴浦	蔵貴浦	砂神山 76m	13m	174	325
		砂神山 76m	13m		
		蔵貴浦 44m	44m		
		市道蔵貴浦2号線終点付近 15m	14m		
蔵貴	蔵貴	神神神社付近高台 17m	12m	141	288
		山田集会所 12m	21m		
		蔵貴公園付近 13m	13m		
		蔵貴寺 41m	31m		
皆江	皆江	市道376号線（格井バス停付近） 18m	10m	218	415
		下泊神子之海岸 10m	3m(12.9m)		
下泊	下泊	下泊小学校屋上 25m	35m	164	344
		蔵貴下泊中ノ浦線 10m	10m		
		砂神山 20m	20m		
		砂神山 20m	20m		

※1…一時避難場所は、災害状況によっては利用できない場合もあります。平時より、複数の避難場所を考慮しておき、想定外の事態に備えましょう。  
 ※2…海拔については、多少の誤差があります。カッコ書きしてあるのは、建物の高さです。  
 ※3、※4…世帯数および人口は、平成26年1月末時点のものです。